

(仮称)阿武風力発電事業に係る 住民説明会

2020年10月
日立サステナブルエナジー株式会社

1. 事業会社について
2. (仮称)阿武風力発電事業について
3. 環境影響評価について
4. 今後の予定について

1. 事業会社について

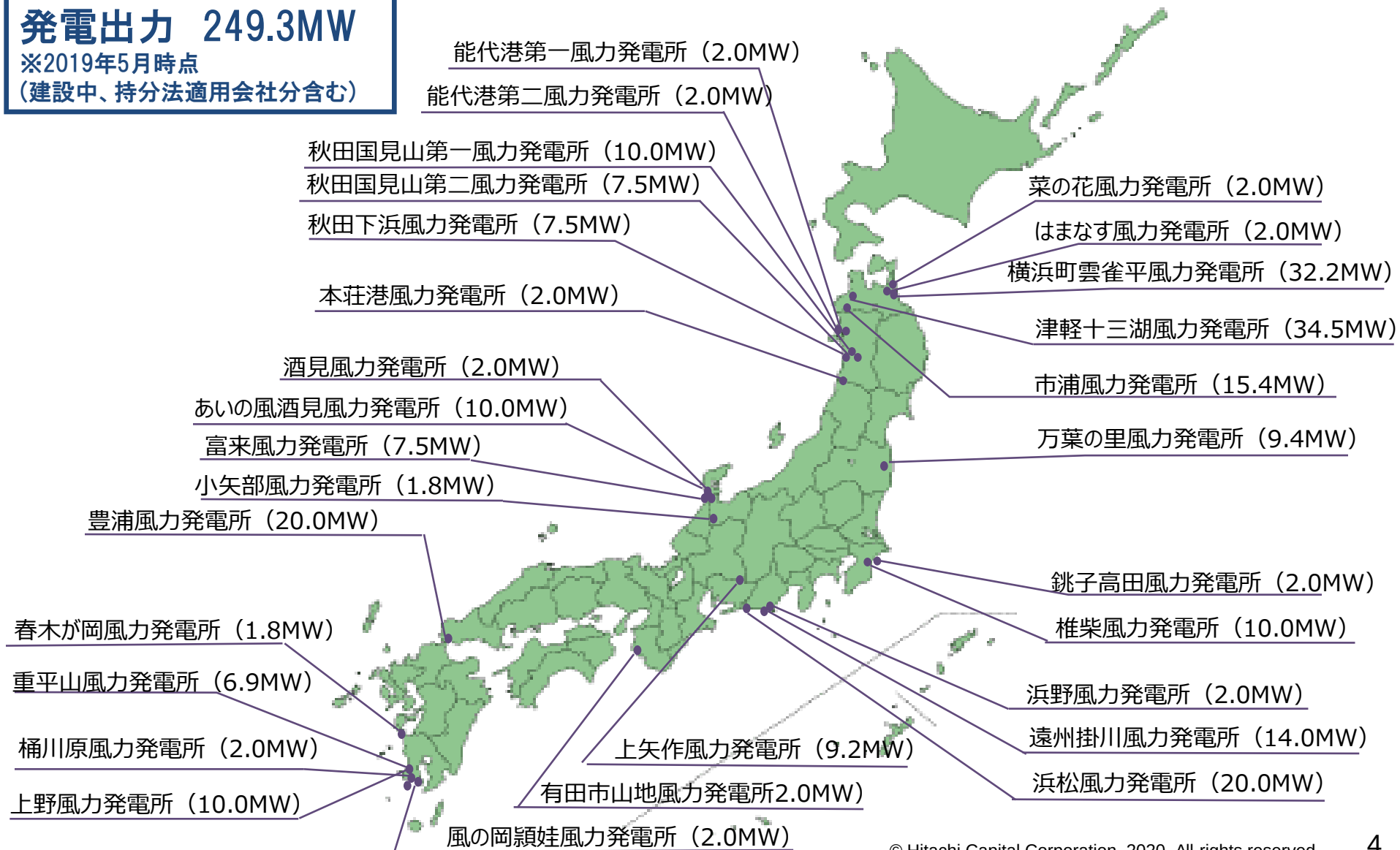
事業会社概要

会社名	日立サステナブルエナジー株式会社 (英文呼称:Hitachi Sustainable Energy Ltd.)
取締役社長	石田 桂
資本金	5,000万円
本社所在地	茨城県日立市幸町三丁目2番2号
創業年月日	2016年3月1日
事業内容	風力をはじめとした再生可能エネルギー発電事業の開発・建設・運営等
事業規模	子会社11社 27発電所(127基 237.4MW)
主要株主	日立キャピタル株式会社 株式会社日立パワーソリューションズ

風力発電所一覧

発電所 29発電所
発電出力 249.3MW

※2019年5月時点
(建設中、持分法適用会社分含む)



2. (仮称)阿武風力発電事業について

◇事業実施区域の選定理由

風況がとても良く、山口県、阿武町の再生エネルギー関連の取り組みに資する事業が展開できる

- ①山口県「山口県環境基本条例」
- ②阿武町「第7次阿武町総合計画」

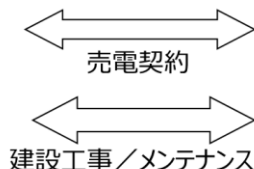
◇将来の展望

- ・地元に根差した事業の展開
- ・風力事業を絡めた「まちづくり」

→地元活性化に寄与する

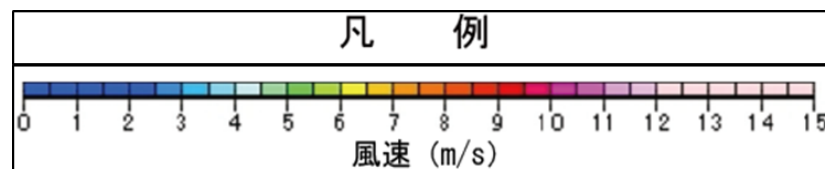
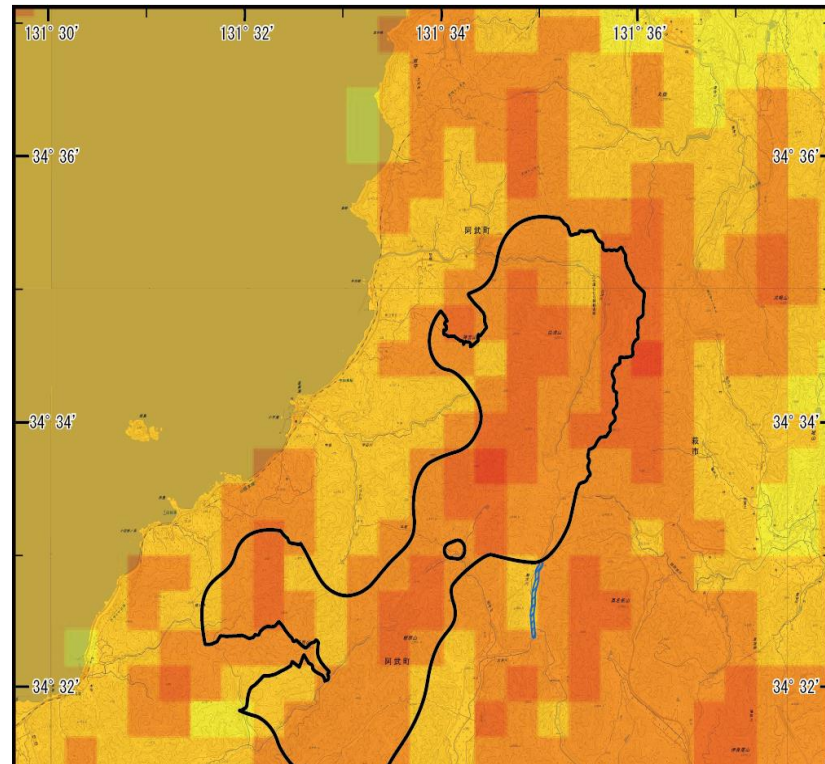
実施体制(案)

事業主体
日立サステナブルエナジー(株)
または新規に設立する
特別目的会社

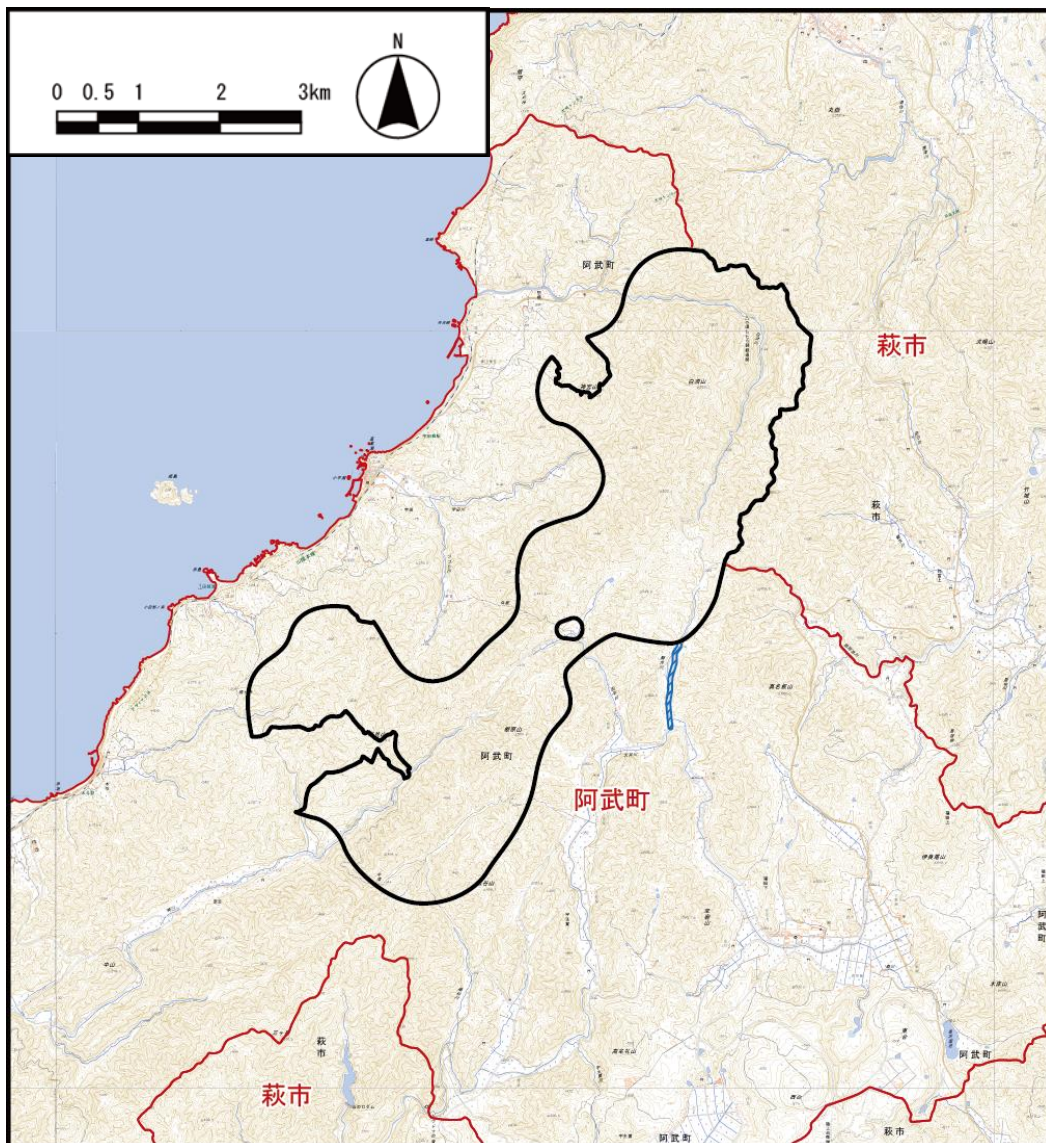


中国電力(株)

(株)日立パワー
ソリューションズ



地上高70mの局所風況マップ
ハブ高さ付近でも風況が良い



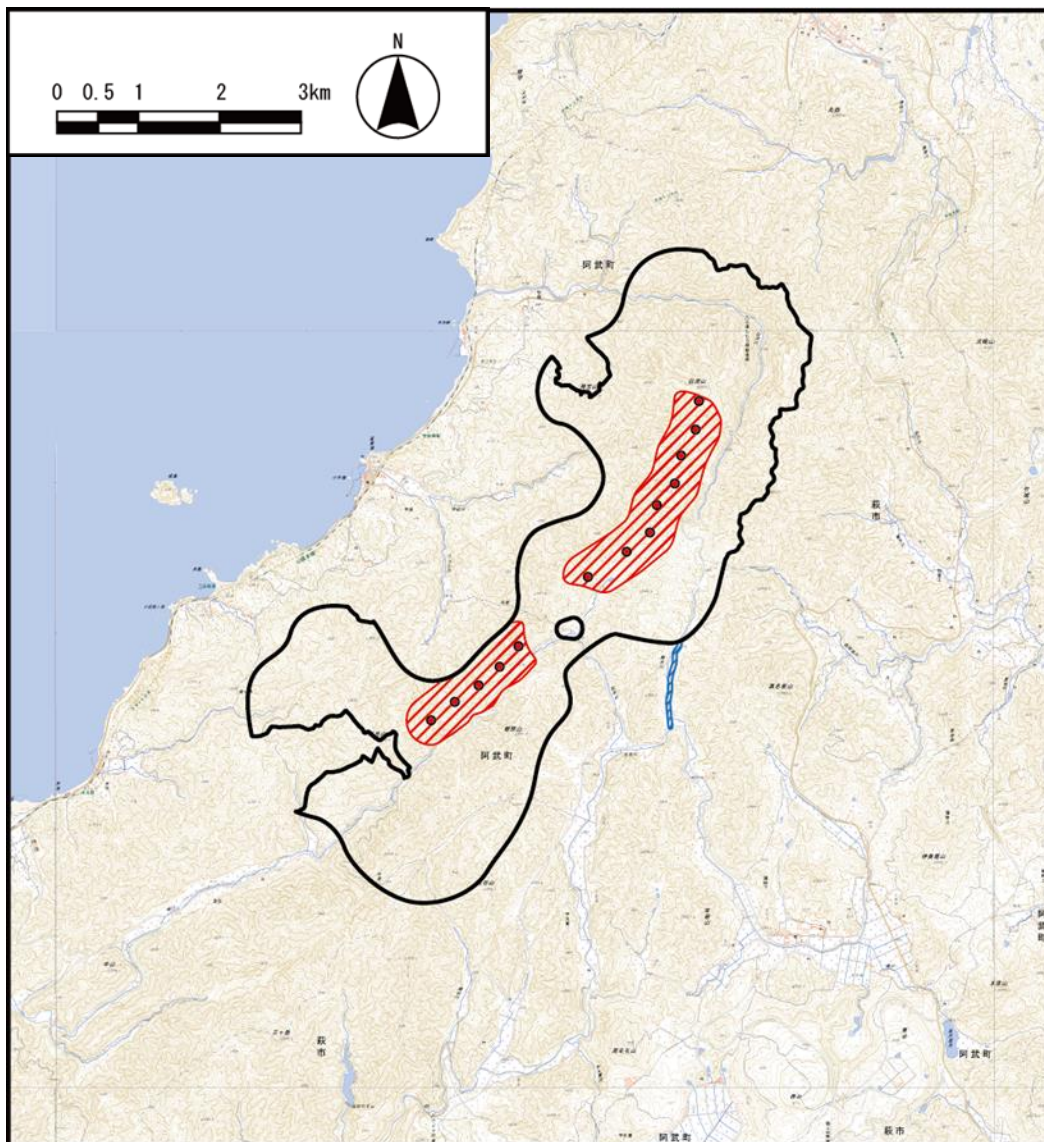
事業実施想定区域の考え方

風力発電機の設置予定範囲
以外に、土捨て場や工事仮
設道路等、本事業に伴い、
改変の可能性がある範囲を
含んでおります。

凡 例

-  事業実施想定区域
-  事業実施想定区域
(既存道路の拡幅等をする可能性のある範囲)
-  行政界

風車設置予定範囲



発電所の出力

発電所の出力: 最大54,600kW
単機出力 : 4,200kW程度
基数 : 最大13基

凡 例

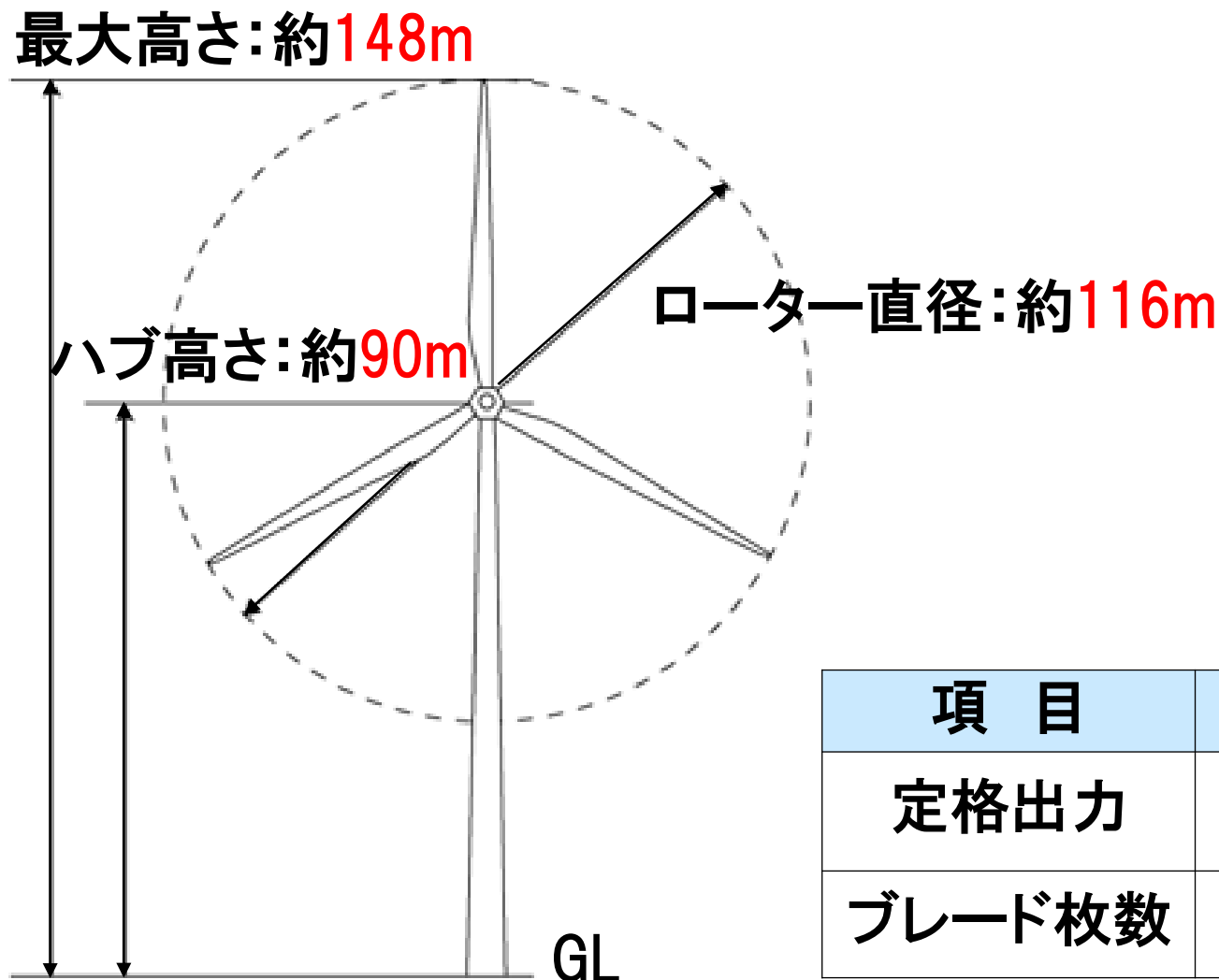
- 事業実施想定区域
- 事業実施想定区域
(既存道路の拡幅等をする可能性のある範囲)
- 風力発電機の設置予定範囲
- 風力発電機

注: 風力発電機的位置は一例として示している。

風車設置予定範囲の選定条件(現時点)

- 最寄住居からの離隔 600m以上
- 小学校・病院など公共的施設からの離隔 1km以上
- 急傾斜地崩壊区域
- ハザードマップの土砂災害特別警戒区域、警戒区域
- 北長門海岸国定公園域、海岸保全区域
- 鳥獣保護区
- ◇保安林内の建設については、今後 県、森林組合等と協議していきます

※環境影響評価の過程で条件の追加・変更を実施します



項 目	諸 元
定格出力	4,200kW程度
ブレード枚数	3枚

風力発電機の概略図(4,200kW程度)

注: 基礎形状は、今後の地質調査等の結果を基に検討する。

風力発電機を輸送するルート

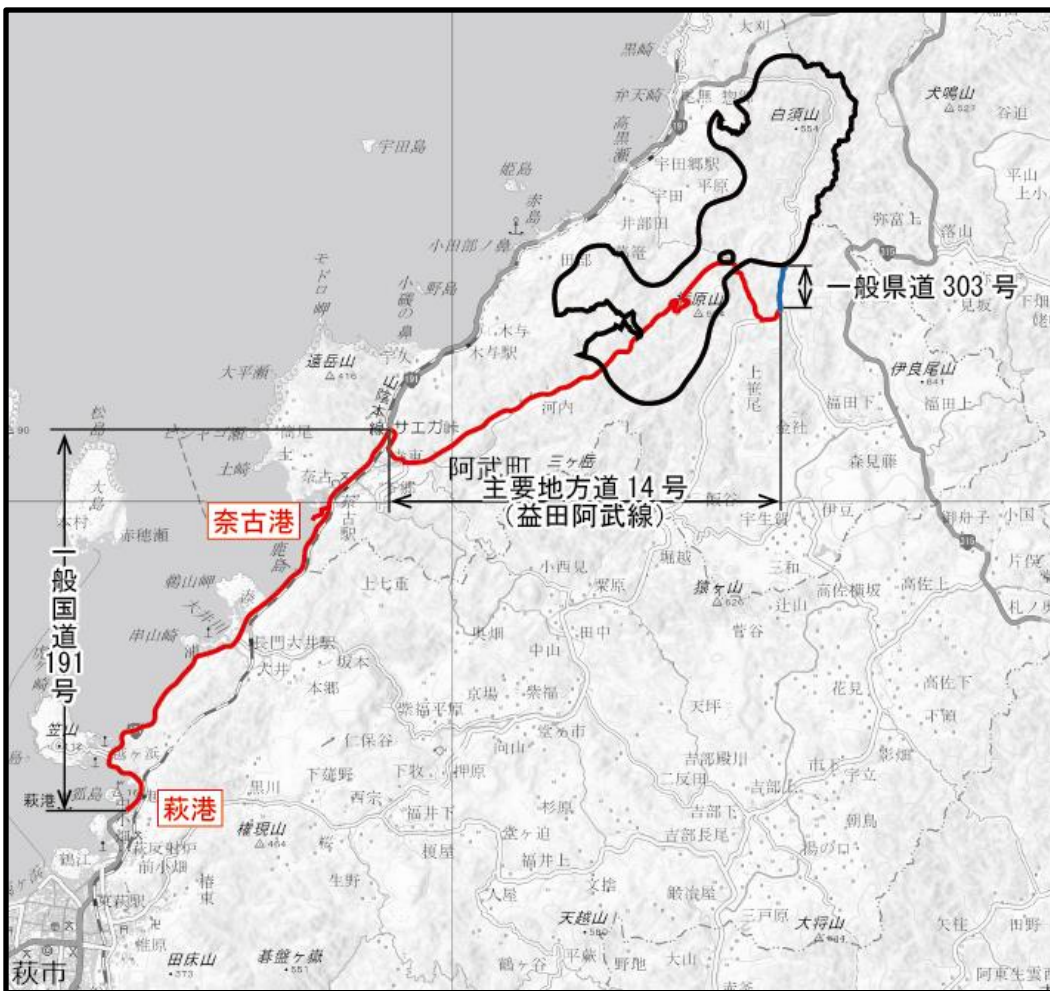
＜荷揚げ港＞

- ・萩港もしくは奈古港

＜ルート＞

- ・一般国道191号
→ 主要地方道14号
→ 一般県道303号

なお、今後輸送計画を変更する可能性がある。



凡 例



事業実施想定区域



事業実施想定区域
(既存道路の拡幅等をする可能性のある範囲)

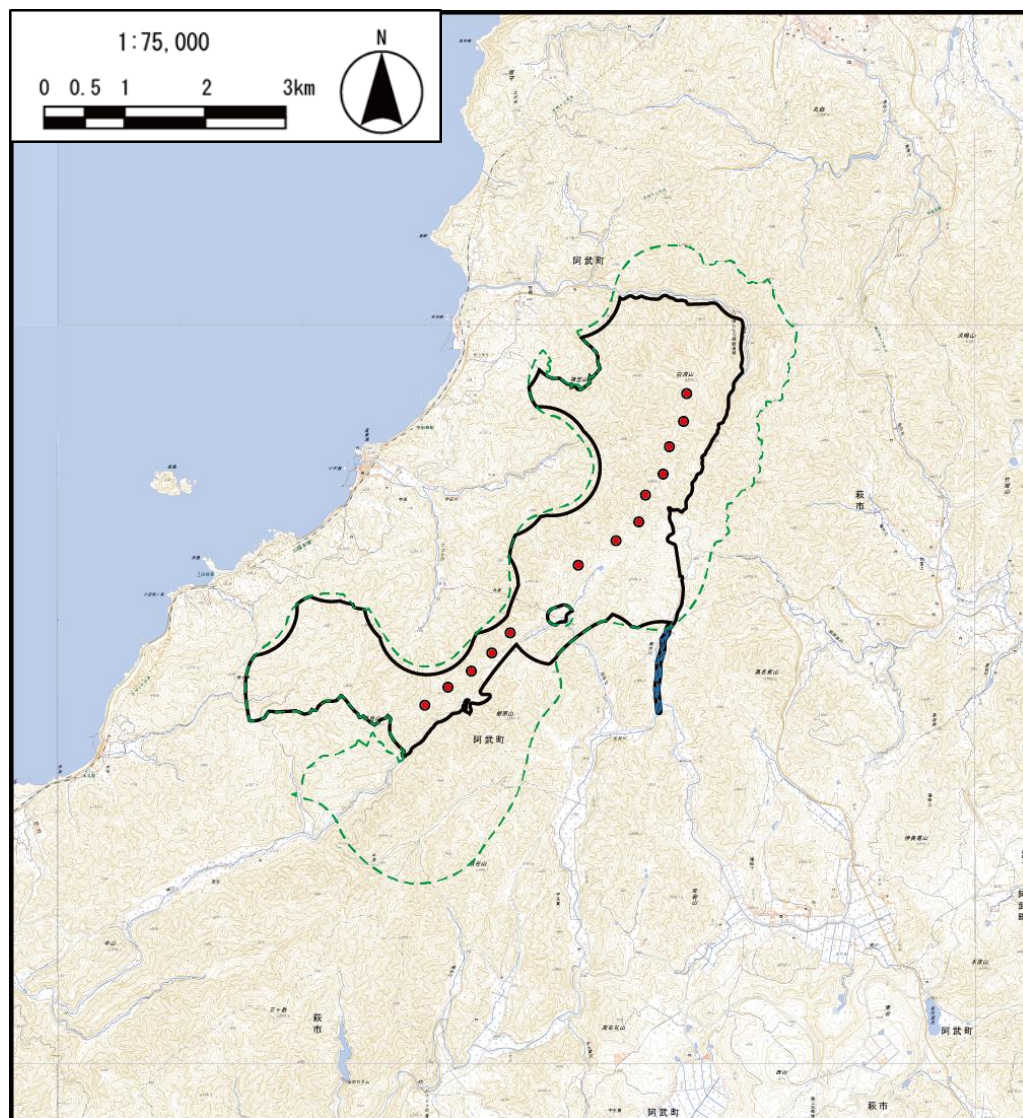


輸送ルート (案)

方法書での区域、風車配置(検討中)

・配慮書でのご意見を踏まえ、方法書では黒色の区域とすることを検討中

・ミヤマウメモドキ群落や奈古鳥獣保護区等を回避する予定



凡 例

-  対象事業実施区域
-  風力発電機
-  事業実施想定区域 (配慮書)
-  事業実施想定区域 (配慮書)
(既存道路の拡幅等をする可能性のある範囲)

事業工程(変更の可能性あり)

項目	2020	2021	2022	2023	2024
1.地域・地権者との合意形成					
2.風況観測					
3.環境影響評価					
a) 配慮書(審査90日)					
b)方法書(審査180日)					
c)環境影響調査					
d)準備書(審査270日)					
e)評価書(審査90日)					
4.系統連系					

5.建設工事期間 : 着工後 1～30か月

6.試運転期間 : 着工後30～33か月

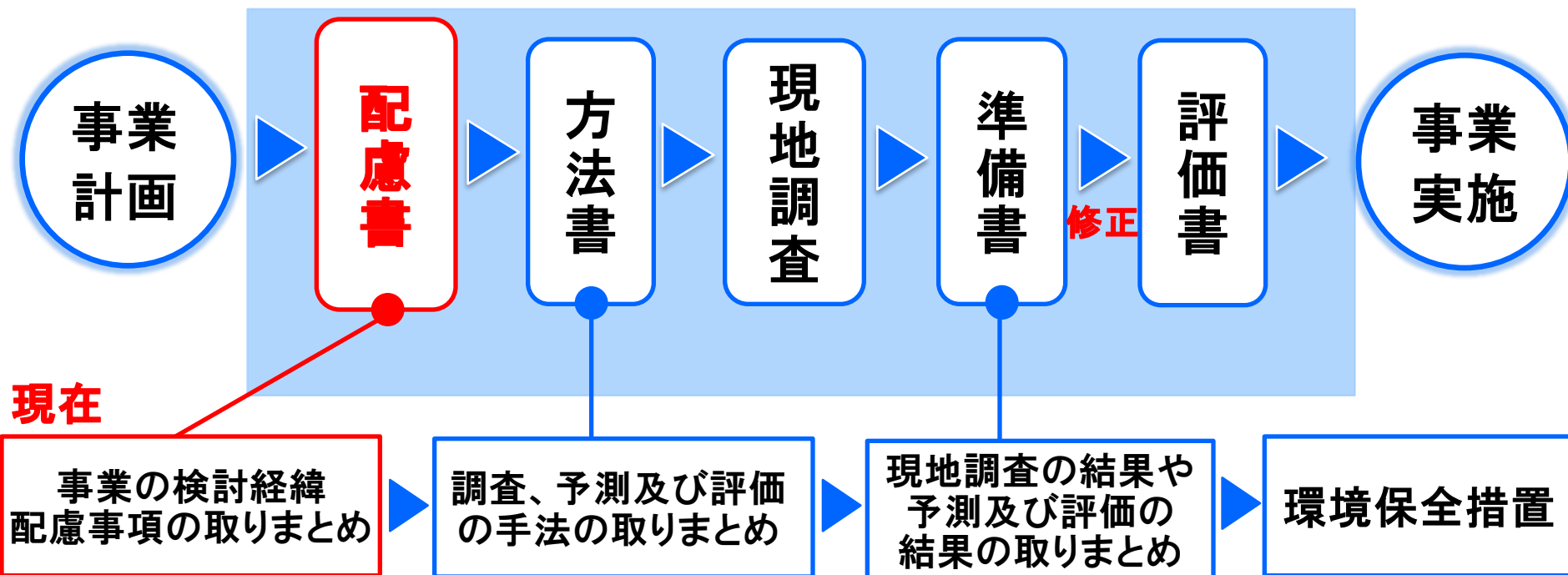
7.運転開始 : 着工後34か月目

本スケジュールありきで開発を進めるわけではございません。
皆様のご意見を頂戴しながら事業検討を進めます。

3. 環境影響評価について

環境影響評価(環境アセスメント)について

環境影響評価法に基づき、事業の実施前に環境への影響を評価し、その結果を踏まえて影響をより小さくするための対策をずる手続き



住民の皆様のご意見、知事・市町長のご意見、経済産業大臣意見・勧告を踏まえた上で事業を計画してまいります。

頂いた意見書の内容

騒音・超低周波音及びその健康被害

重要な地形・地質(奈古断層、萩ジオパーク)

水質への影響

土砂災害への懸念

海域への影響の懸念

ミヤマウメモドキ群落への影響

景観への影響

バット・バードストライクの懸念

・住民説明会の開催

HPでの縦覧方法

- ・頂いた意見書を踏まえて、方法書を作成いたします。
- ・住民意見として、内容とそれに対する事業者見解を方法書に記載させていただきます。

今後、以下の項目について配慮した計画になるよう進めてまいります。
方法書では調査の方法を検討いたします。

騒音
超低周波音

風車の影

動物

植物

生態系

景観

人と自然との
触れ合いの
活動の場

※今後、工事中的影響について大気質、水質等についても配慮いたします。

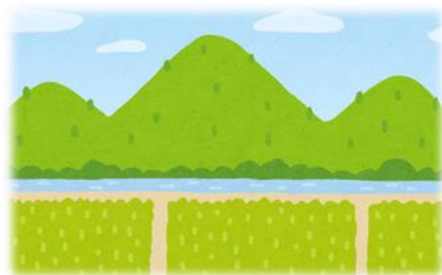
環境影響評価における調査、予測及び評価

方法書



調査方法の検討

現況



現在の状況を調査

将来

工事の実施



施設の稼働



調査結果を踏まえて、
影響を予測及び評価する。

騒音



水質



動物



景観



→ 現地調査(特に騒音・超低周波音・振動)の現地調査では、
皆様にご協力いただくことが可能です。

《例》 景観の調査・予測について

現状



完成後



調査：写真撮影



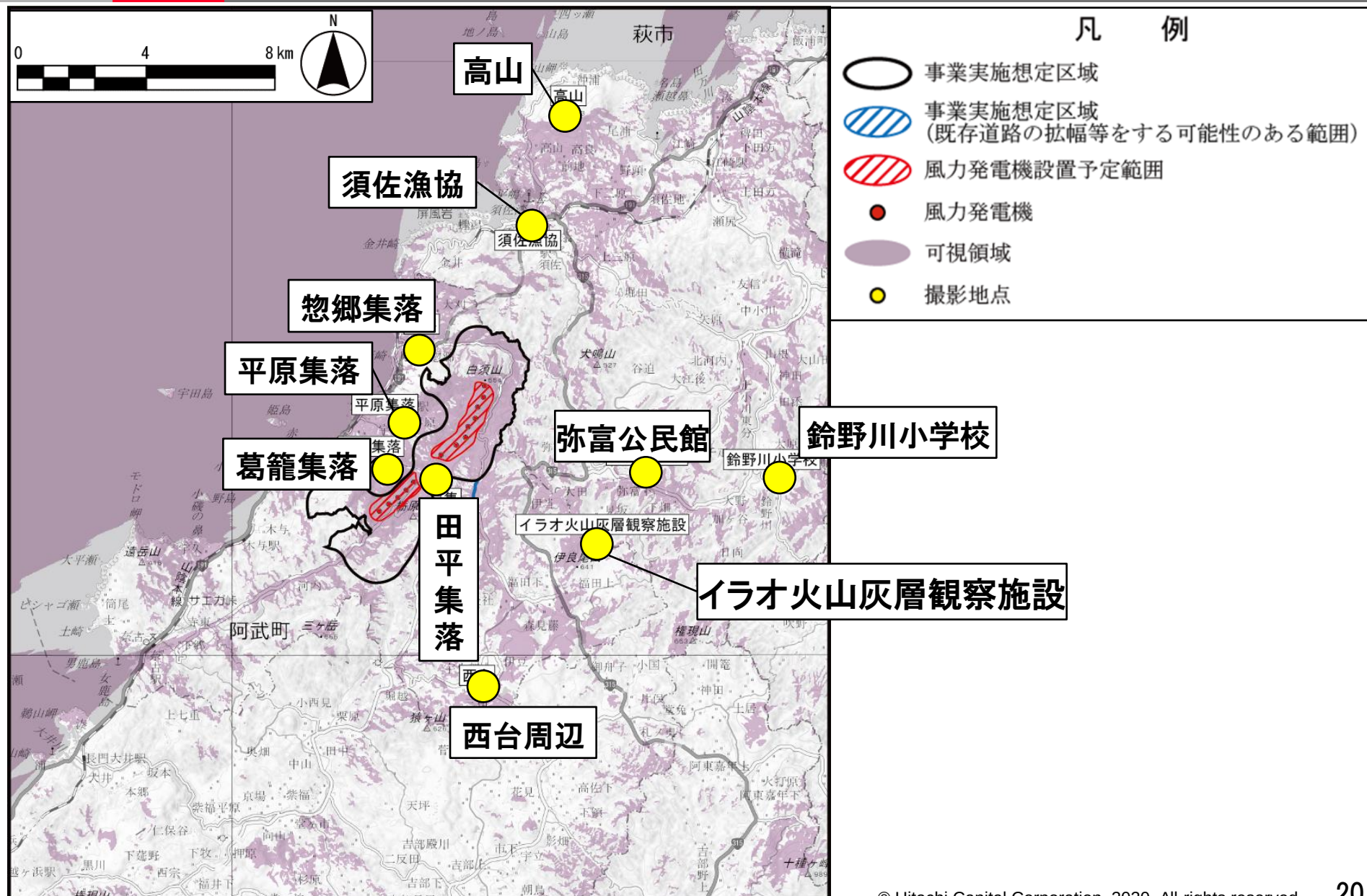
主要な眺望点
(不特定多数の人が集まる場所)
から撮影します。
※調査は晴天日に実施します。

予測：フォトモンタージュ



使用する風車のサイズ、
配置から合成写真を作成し、
**施設完成後にその場所から
風車がどのように見えるかを予測します。**

現時点での景観の予測



現時点での景観の予測

① 田平集落

現状

南

北

完成後

写真の水平画角：約180度

＜凡例＞ ：風力発電機が視認できる範囲
↔：風力発電機が位置する範囲

② 惣郷集落

現状



完成後



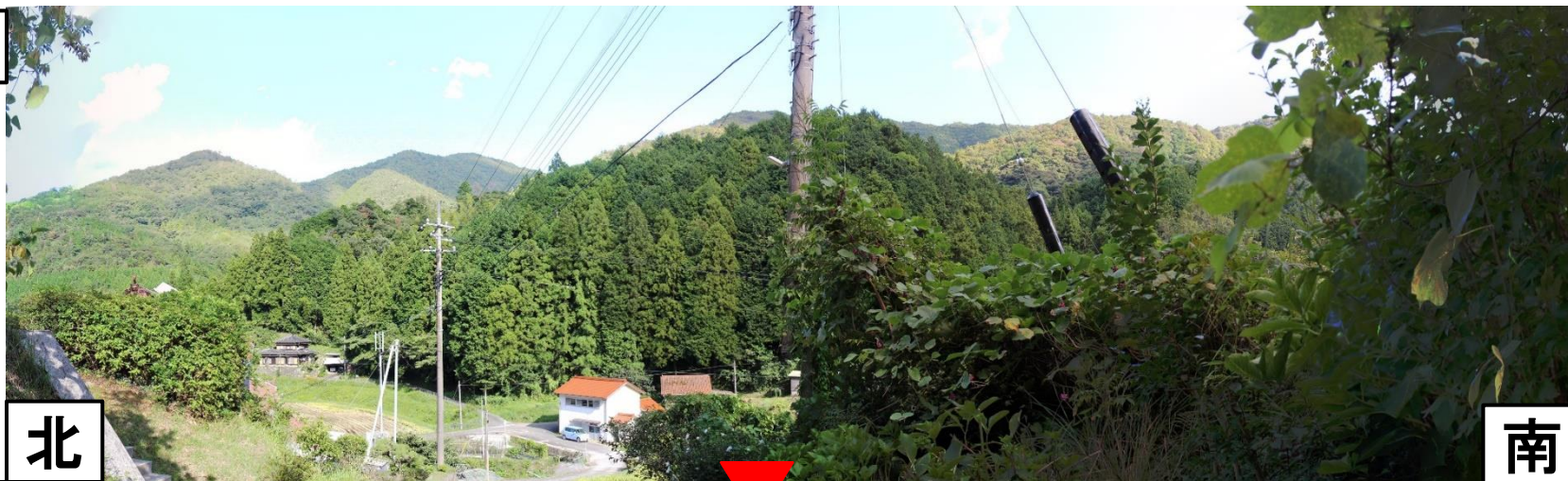
写真の水平画角：約120度

<凡例> --- : 風力発電機が視認できる範囲
↔ : 風力発電機が位置する範囲

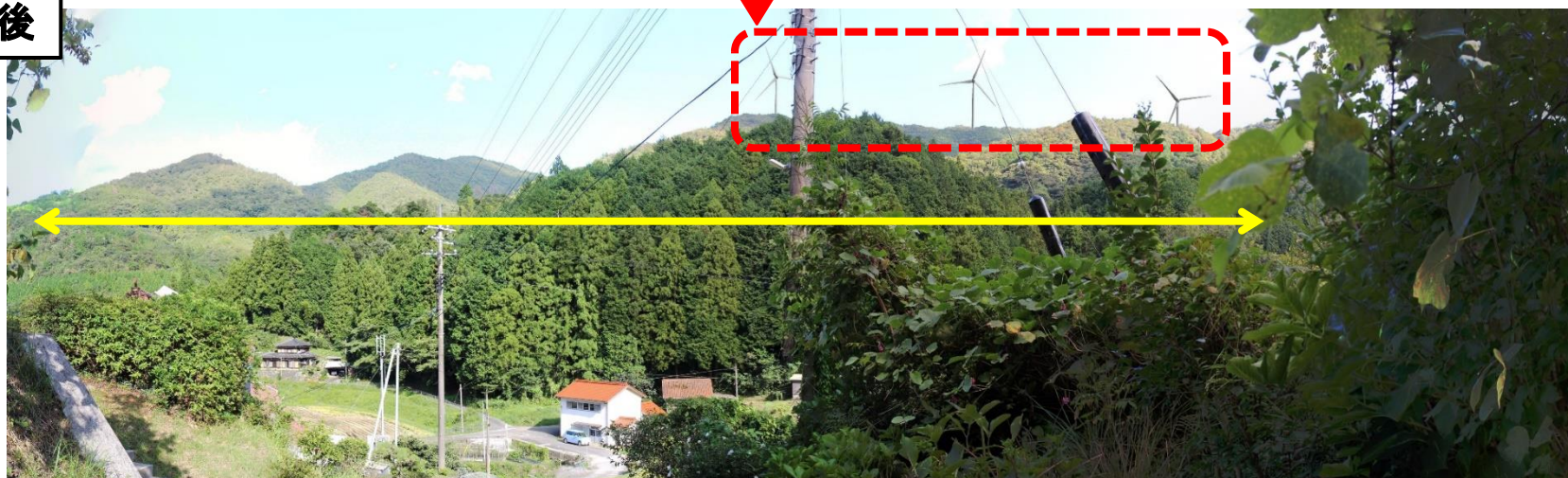
現時点での景観の予測

③ 葛籠集落

現状



完成後



<凡例> : 風力発電機が視認できる範囲
↔ : 風力発電機が位置する範囲

写真の水平画角: 約150度

④ 平原集落

現状



北

南

完成後



<凡例> : 風力発電機が視認できる範囲
↔ : 風力発電機が位置する範囲

写真の水平画角: 約150度

現時点での景観の予測

⑤西台周辺(不可視)

現状



完成後



＜凡例＞  : 風力発電機が位置する範囲

写真の水平画角: 約60度

⑥ 弥富公民館

現状



完成後



<凡例> : 風力発電機が視認できる範囲
↔ : 風力発電機が位置する範囲

写真の水平画角: 約90度

⑦イラオ火山灰層観察施設(不可視)

現状



完成後



写真の水平画角：約90度

＜凡例＞  : 風力発電機が位置する範囲

現時点での景観の予測

⑧ 鈴野川小学校(不可視)

現状



完成後



写真の水平画角：約120度

＜凡例＞ ：風力発電機が位置する範囲

現時点での景観の予測

⑨ 須佐漁協

現状



完成後



<凡例> □ : 風力発電機が視認できる範囲
↔ : 風力発電機が位置する範囲

写真の水平画角: 約90度

現時点での景観の予測

⑩高山

現状



完成後

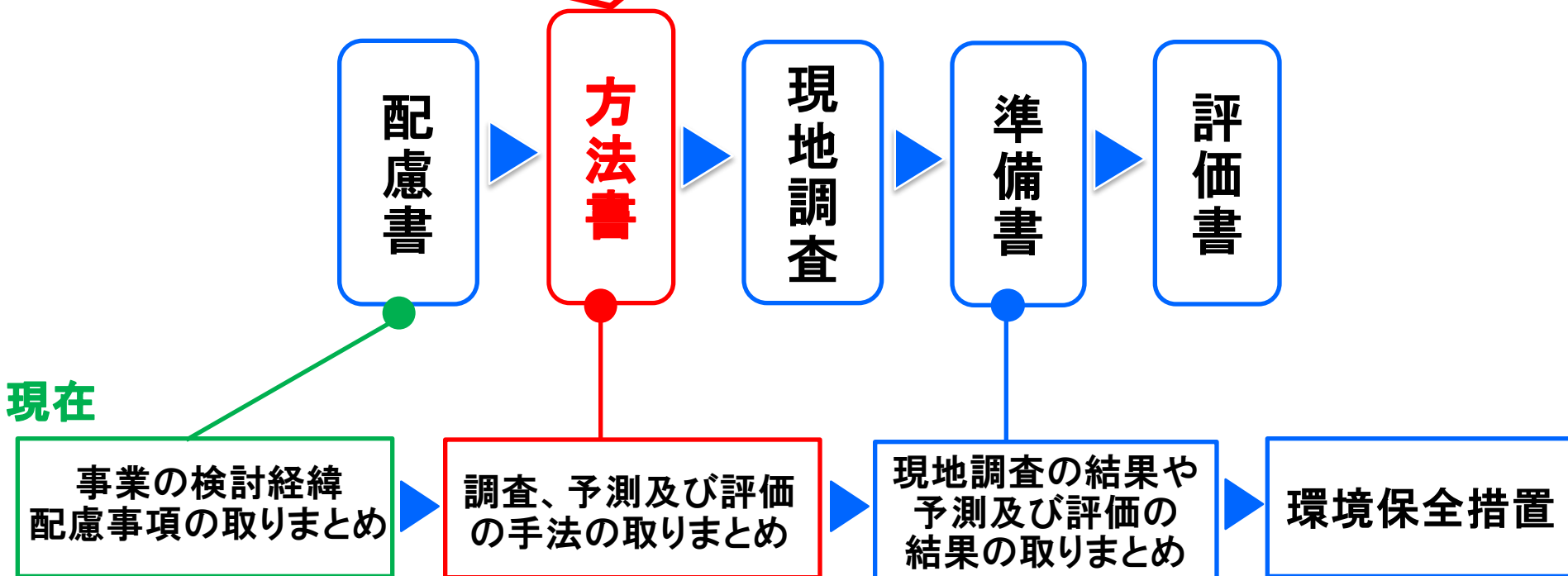


<凡例> : 風力発電機が視認できる範囲
↔ : 風力発電機が位置する範囲

写真の水平画角: 約90度

4. 今後の予定について

2020年12月上旬～2021年1月中旬：縦覧
～2021年1月末：意見書受付



HITACHI
Inspire the Next 